

News Letter

2019年

3月

中国四国農政局
山口県拠点

ふあむず

岩国地域の「食と出会う場所」～FAM'Sキッチンいわくに～

JA山口東が管理・運営する「FAM'Sキッチンいわくに」は、出荷者に主眼を置いた様々な工夫、来場者を飽きさせない様々なイベント企画で、昨年3月のオープン以来、人気を博しています。

出荷者が主役の農産物直売所

「FAM'Sキッチンいわくに」は、山陽自動車道の岩国IC近く、岩国市多田のJA山口東本所横にあります。

店名のFAM'Sとは、「Food And Meet」（食と出会う場）を提供するという意味が込められ、岩国地域の食の拠点として、「Farmers（農家）」や「Family（家族）」がふれあう交流の場にしたいという願いが込められています。

これまで、岩国地域の中山間地域は、地理的条件や高齢化により、地元でとれた農産物を都市部へ届けることが難しい状況にありました。

「FAM'Sキッチンいわくに」では、生産者のお荷負担軽減に向けて、地域内に8か所の集出荷拠点を設け巡回集荷を行うことで、多種多様な地元農産物の販売を実現し、また、市場に出回らない希少な農産物の出荷にも繋げました。

また、生産者のIDを付したラベルを商品に貼り付け、POSシステムと連動させ、販売履歴をメールで受け取る仕組みを構築したことにより、生産者は、直接店舗に出向くことなく売れ行きを知り、次回のお荷判断を素早く、的確にできるようになるなど、この取組は、生産者の所得向上にも大きく貢献しています。

システムへの登録者は平成31年2月末現在で、生産者288名、内40名が加工製造業者となっております。オープン当初と比較して約3倍に増加しています。



～店舗入り口～

また、生産者の販売意欲を高めるため、同店は、陳列エリアを生産者に割り当てることにより、生産者の創意工夫（陳列やPOPの貼付け、店頭での商品説明など）を促し、店舗に活気を呼び込んでいます。

こうした取組は、県内外の直売所関係者から注目を集め、中山間地域活性化の観点からも、多くの関係者が視察に訪れています。



～多くの生鮮野菜とお客さんと賑わう店内～

多彩なイベントで地域交流

「FAM'Sキッチンいわくに」では、「うまいものフェア」「ガールズマルシェ」の販売イベントほか、男性に的を絞ったり、野菜ソムリエを講師に招くなど多彩なカリキュラムによる料理教室や、手芸教室など、「人がふれあう交流の場」を創出する取組も積極的に展開し、好評を得ています。

森本店長は、「3年後の売上目標額を初年度で達成できうれしく思う。本年は地域特産品のお荷量を更に増やすため、生産者と共に周年供給の仕組みを作り上げて行きたい。」と抱負を述べられ、「FAM'Sキッチンいわくに」の取組がもたらす地域活性化に多くの期待が寄せられています。

【取材先】

FAM'Sキッチンいわくに
山口県岩国市多田97番地2
TEL:0827-44-0831

Facebook URL:<https://ja-jp.facebook.com/fams.kitchen.iwakuni/>

トピックス

平成30年度地産地消等優良活動表彰

中国四国農政局では、地域の創意工夫のある地産地消や国産農林水産物の消費拡大に資する優れた取組や活動を行っている団体等を表彰し、その取組を広く紹介することにより、各地域での地産地消の取組を一層推進することとしています。

平成30年度地産地消等優良活動表彰では、山口県から以下の団体が表彰されました。

■中国四国農政局長賞 社会福祉法人E.G.F (萩市)

平成20年、障害者が農業に取り組む施設として「のんきな農場」の開設をきっかけとして、平成22年に、社会福祉法人の認可を受けた後、平成27年に認定農業者となりました。

E.G.Fでは、障害者が遊休農地で農業に取り組むことで自身の価値を高めるとともに、規格外野菜をカットの上、冷凍し、全てを山口県内の学校給食へ販売している他、地域農家が収穫しない規格外の農産物を障害者が収穫することで、ハウスの回転率が向上するなど、様々な取組が高く評価されました。



平成30年度「飼料用米多収日本一」コンテスト

「飼料用米多収日本一」は、飼料用米の本作化を推進するため、飼料用米の単収向上における優れた取組を表彰することにより、その結果を広く紹介するもので、「飼料用米多収日本一」(単位収量の部)において、山口県から以下の1個人、1団体が受賞されました。

■政策統括官賞

長沼 靖夫 さん (山口市徳地) 【10a当たりの収量：818kg】

■全国農業協同組合中央会会長賞

農事組合法人二島西 (山口市秋穂二島) 【10a当たりの収量：811kg】

★
長沼さんは、昨年度の「地域の平均単収からの増収の部」の日本農業新聞賞に続き、2年連続の受賞です。

「一日農政局 in 萩・阿武」を開催しました



中国四国農政局は、2月8日、山口県萩市において「水田をフル活用した農家所得向上に向けての取組」をテーマに「一日農政局in萩・阿武」を開催しました。

当日は、地元の集落営農法人、法人連合体、JA、行政関係者、農政局及び傍聴者を含め37名が参加し、「地元の集落営農法人と酒造会社との連携による酒造好適米の生産拡大」、「法人の経営安定に向けた高収益作物導入」をテーマに意見交換をおこない、参加者の皆様から貴重な御意見をいただきました。

また、参加したJAや行政から地域への積極的な支援が表明されるなど、非常に有意義なものとなりました。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-0088 山口市中河原町6-16 山口地方合同庁舎1号館3階

TEL (083)922-5200 FAX(083)934-1120 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>